

# 普仙寺だより

第135号 平成18年6月



平成18年5月30日 第36回三河教区檀信徒婦人研修会に参加しました  
左から谷山よし子さん、岡田さとえさん、杉本恵子さん

## 開経偈（かいきょうげ）

開経偈(かいきょうげ)の文は

無常甚深微妙法(むじょうじんじんみみょうほう)  
百千万劫難遭遇(ひゃくせんまんごうなんそうぐう)  
我今見聞得受持(がこんけんもんとくじゅじ)  
願解如来真實義(がんげによらいじんじつぎ)

の4行です。

無常甚深微妙法(むじょうじんじんみみょうほう)  
読み 無常甚深微妙の法は(むじょうじんじんみみょうのほうは)  
意味 この上のないたいへん深く妙なる仏の教えは。

百千万劫難遭遇(ひやくせんまんごうなんそうぐう)

読み 百千万劫にも遭い遇うこと難し(ひやくせんまんごうにもあいおうことかたし)

意味 百千万劫という長い年月を経たとしても巡り会うことは難しいことです。

我今見聞得受持(がこんけんもんとくじゅじ)

読み 我れ今見聞し受持することを得たり(われいまけんもんしじゅじすることをえたり)

意味 私は、今、その教えを拝見し拝聴して受けることができました。

願解如来真實義(がんげによらいじんじつぎ)

読み 願わくは如来の真實義を解したてまつらん(ねがわくはによらいのしんじつぎをげしたてまつらん)

意味 願わくは御仏がご体得された真理を私も体得できますように

## 総本山知恩院おてつきこども奉仕団参加者募集

期間

7月27日(木)より7月29日(土)までの2泊3日間

日程

第1日目

- 豊橋市悟真寺前に集合
- 貸し切りバスにて京都へ
- 知恩院に到着
- 結団式、奉仕作業、映画
- ともし火のつどい(知恩院泊)

第2日目

- 知恩院より比叡山へ
- 延暦寺参拝、黒谷青龍寺に到着、おつとめ、夜のつどい
- 青龍寺泊

第3日目

- 青龍寺より知恩院へ移動
- 解団式
- 貸し切りバスにて豊橋へ
- 豊橋市悟真寺前にて解散

参加資格

普仙寺檀信徒のこどもで小学校4年生から中学校3年生まで  
(普仙寺檀信徒の新家のこども、普仙寺檀信徒のこどもの友達でも結構です)

#### 仮申込

所定の仮申込用紙に必要事項を記入して普仙寺へ提出して下さい。

後日正式の申込用紙をお届けします。

#### 締切

6月30日(金)までに

#### 費用

知恩院までの往復バス代14,000円(予定)

## 婦人研修会

去る5月30日、岡崎市の勤労福祉会館にて、浄土宗三河教区主催の第36回檀信徒婦人研修会が開催され普仙寺から5名の方が参加されました。

普仙寺華頂婦人会からは岡田さとえさん、谷山よし子さん、杉本恵子さんが参加されました。

また、来賓として知恩院おてつぎ推進協議会本部役員の神山盛二さん、寺庭婦人会会員として加藤佳子さんが登壇されました。



平成18年5月30日  
三河教区檀信徒婦人研修会のコーラスで、加藤桂子が登壇しました

## 800年前の法然上人

今から800年前、元久3年(西暦1206年)の6月、法然上人の周辺ではどのようなことがあったのでしょうか。

6月5日、東大寺再建の大勸進職であった俊乗房重源上人が往生なされました。重源上人は建久元年(1190)法然上人を東大寺にお招きされ、浄土三部経の講説をお願いされました。以来法然上人に対し師僧の礼を尽くしました。86歳でした。

6月13日、九条兼実公は土御門天皇のお召しに応じて参内され、念仏宗のことについてお答えされました。

6月19日、後鳥羽上皇が念仏宗に対する宣旨の言葉を諸卿に諮問なされ、諸卿郡議されています。

6月28日、専修念仏の人々申状を呈出します。

## 寺行事案内

### 土曜礼拝 (どようらいはい)

毎週土曜日 午前8時30分～9時

礼拝を含むお勤めです。本家、新家の別なく、どなたでもお参り下さい。

#### ◇内容

1. 浄土日常勤行式
2. 法然上人御法語拝読
3. 住職の法話

#### ◇法然上人御法語の予定

6月27日からは

- 後編第27章 転重転受
- 後編第28章 順逆二縁
- 後編第29章 一蓮托生
- 後編第30章 回向

### 月並法要 (つきなみほうよう)

平成18年7月8日(土) 午後7時より

年回忌の祥月にあたる方のご回向をいたします。

### 盆大施餓鬼会 (ぼんだいせがきえ)

7月29日(木) 午後1時～午後6時半

時間申し込みをして下さい。

詳細は6月号にあります。

